

Import Reconciliation Workflow Profile

IHE-J 接続検証委員会



IRWF の目的

- 他施設から持ち込まれた可搬媒体（CD、フィルムなど）内のデータを、時施設のシステムに取り込む際の整合性を確保する
 - インポートの手段は問わない
 - インポート後、患者情報やオーダ関連情報を（必要に応じ）書き換え、自施設内で運用されるようにする
 - 変更されたオリジナルの情報は保持される

IRWF の前提条件

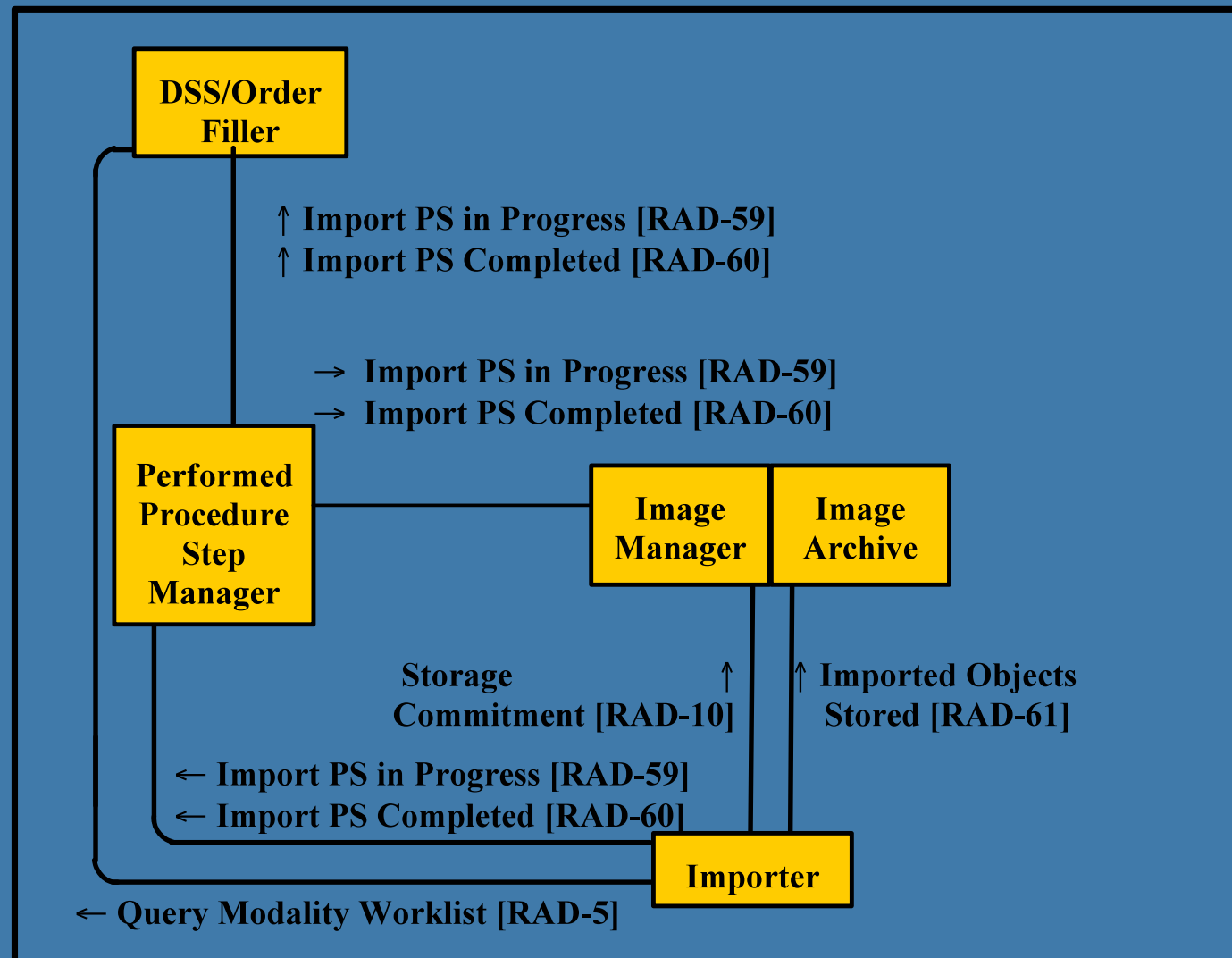
- 患者情報は、その施設内のシステムにあらかじめ登録されていなければならない
- 患者情報が未登録の場合は、適用範囲外

IRWF オプションサポート

- IRWFは2つのオプションがあり、少なくともどちらかをサポートする必要がある。
- **Scheduled Import Option**
 - OFからMWLによって、取り込み予定を取得する
 - MWLのデータによって、Objectの内容を更新する。
- **Unscheduled Option**
 - PDSから患者情報を検索取得して、Objectの内容を更新する。

Import Reconciliation Workflow

Scheduled Import Transaction Diagram



DICOM Transactions

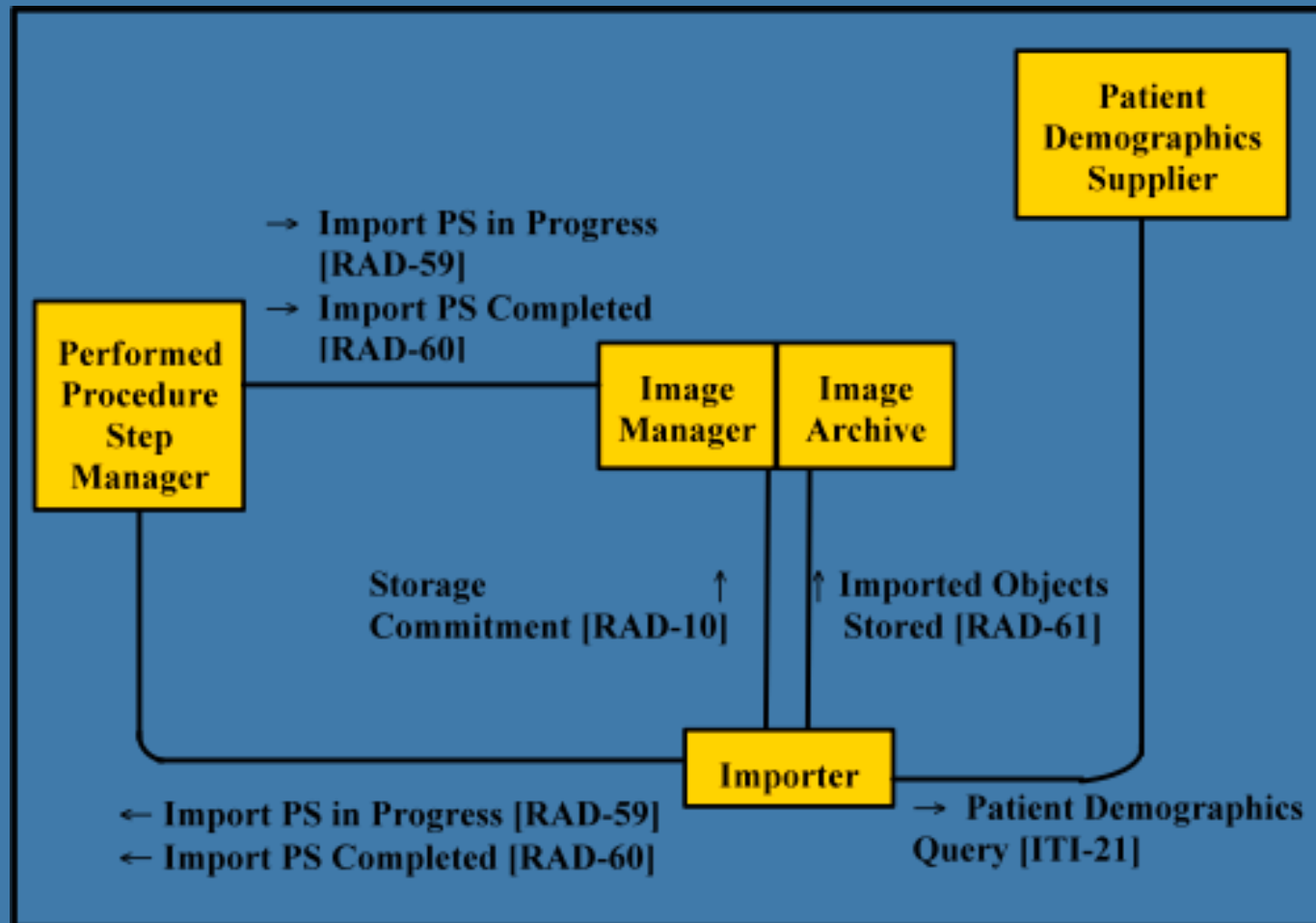
Modality Worklist
(MWL)

Modality Performed
Procedure Step
(MPPS)

Object Storage
Storage Commitment

Import Reconciliation Workflow

Unscheduled Import Transaction Diagram



HL7 Transactions

Patient Demographics
Query (QBP^22)

DICOM Transactions

Modality Performed
Procedure Step
(MPPS)
Object Storage
Storage Commitment



iHE Changing the Way Healthcare CONNECTS

WWW.IHE.NET